

令和3年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第10号(1月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和3年12月23日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
低い	平年並か少ない	平年並か少ない

○1月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		12月の発生量 (平年比)	12月からの 増減	1月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ、イネヨトウ)	並	→	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(→)
(温かみかん)	① ハダニ類	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
(かんきつ)	① ハダニ類	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
マンゴー	① ハダニ類	やや多	↓	やや多	平年の発生量の推移(↓)
キャベツ	① 黒腐病	多	→	多	平年の発生量の推移(→)
	② 菌核病	多	↑	多	平年の発生量の推移(↑)
	③ コナガ	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
レタス	① 菌核病	(発生なし)並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	② 軟腐病	(発生なし)並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	③ クロゲハナアザミウマ	並	↓	並	平年の発生量の推移(↓)
かぼちゃ	① うどんこ病	並	↑	並	平年の発生量の推移(↑)
	② ハモグリバエ類	多	↑	多	平年の発生量の推移(↑)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○1月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		12月の発生量 (平年比)	12月からの 増減	1月の発生量 (平年比)	
（ゴーヤー施設）	① うどんこ病	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	② ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	③ タバココナジラミ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④ アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
（ピーマン施設）	① ミナミキイロアザミウマ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	② タバココナジラミ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
（トマト施設）	① 黄化葉巻病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② コナジラミ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（さいやいんげん平張）	① タバココナジラミ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
（小ギク年未出荷用）	① 黒斑・褐斑病	多	↗	多	平年の発生量の推移（↗）
	② アザミウマ類	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）
	③ アブラムシ類	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	④ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（ 温 州 ミ カ ン ） かん き つ	黒点病	不要な枝の剪定は、伝染源を少なくするのに有効である。剪定残渣はほ場外に持ち出し適正に処理する。または土中に埋めるか、ビニールシートをかぶせて伝染源とならないようにする。
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。
	キクイムシ類	衰弱した枝、幹などから食入し、被害が進むと枯死させる。葉が黄化落葉したり、枝などから線香状の木くず（フラス）が見られたら、侵入部位まで枝を除去し、速やかに施設外に持ち出し処分する。また樹勢が低下することで本虫の加害を受けやすくなるので、樹勢維持に努める。

令和3年度 宮古群島 病害虫発生予報 第10号(1月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和3年12月23日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
低い	平年並か少ない	平年並か少ない

○1月の発生予報 (宮古群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		12月の発生量 (平年比)	12月からの 増減	1月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ、 イネヨトウ)	並	↗	並	芯枯茎率の平年の発生量の推移(↗)
マンゴー	① ハダニ類	多	→	多	平年の発生量の推移(→)
へちま	① うどんこ病	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫(宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

令和3年度 八重山群島 病害虫発生予報 第10号(1月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和3年12月23日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
低い	平年並か少ない	平年並か少ない

○1月の発生予報 (八重山群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		12月の発生量 (平年比)	12月からの 増減	1月の発生量 (平年比)	
さとうきび	① メイチュウ類 (カンシャシンクイハマキ、イネヨトウ)	並	↗	並	芯枯率率の平年の発生量の推移(↗)
マンゴー	① ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
かぼちゃ	① うどんこ病	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	② アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	③ ハモグリバエ類	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移(↘)
へゴ施設ヤシ	① ミナミキイロアザミウマ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移(→)
	② アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値: 過去5~10年間の発生量の平均値
- 例年値: 過去3~4年間の発生量の平均値

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫(八重山群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	キクイムシ類	衰弱した枝、幹などから食入し、被害が進むと枯死させる。葉が黄化落葉したり、枝などから線香状の木くず(フラス)が見られたら、侵入部位まで枝を除去し、速やかに施設外へ持ち出し処分する。また樹勢が低下することで本虫の加害を受けやすくなるので、樹勢維持に努める。
かぼちゃ	モザイク病	モザイク病が多発生している。 媒介虫の密度が低くても感染力は高いので、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。 発病株は感染源となるので見つけ次第抜き取り、ほ場外へ持ち出し処分する。 本病は汁液伝染するので、ハサミや手の消毒、洗浄を行う。